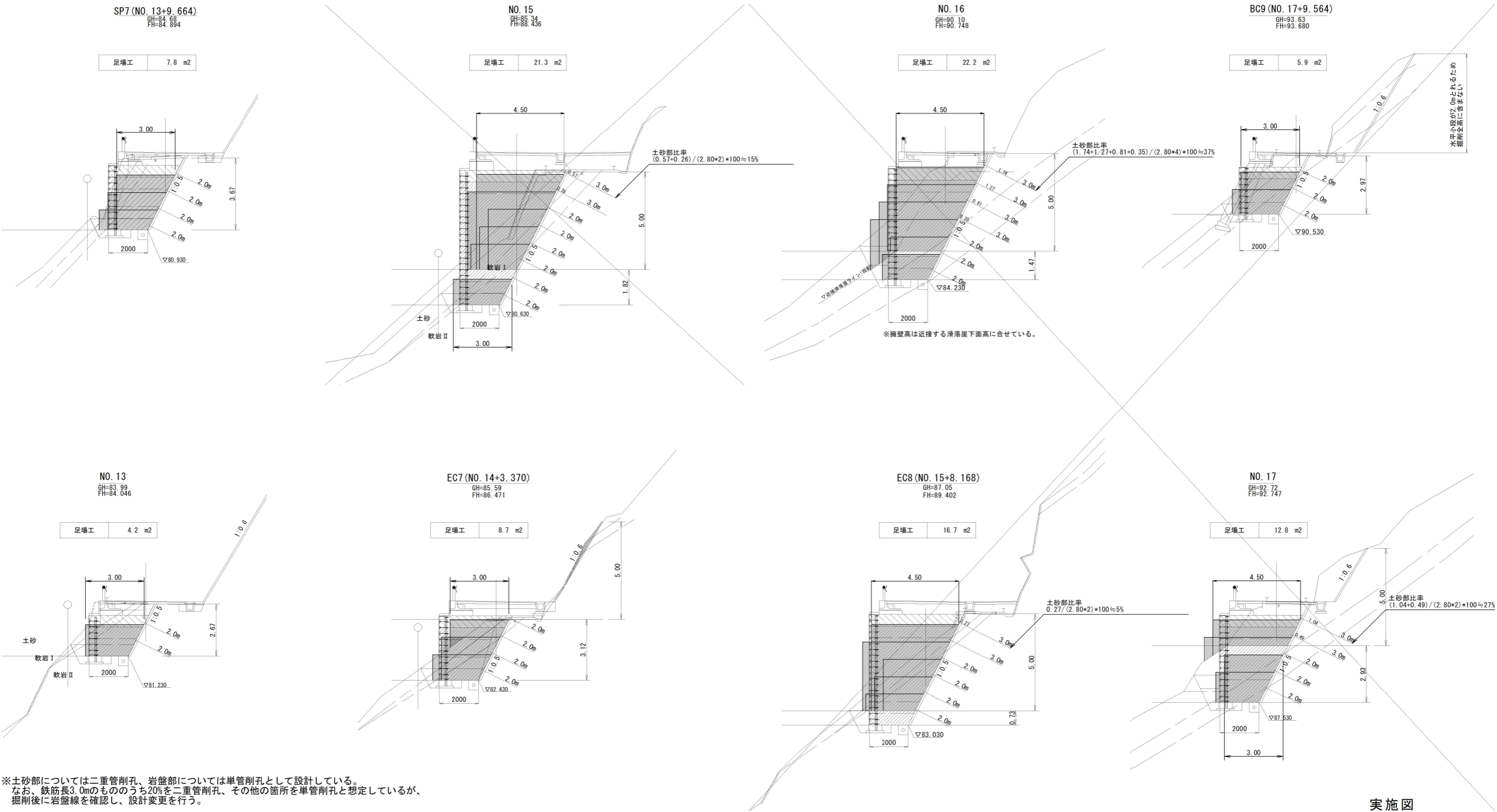


仮設工参考図



※土砂部については二重管削孔、岩盤部については単管削孔として設計している。  
なお、鉄筋長3.0mのもののうち20%を二重管削孔、その他の箇所を単管削孔と想定しているが、掘削後に岩盤線を確認し、設計変更を行う。

掘削時の安全性から、掘削全高（道路山側も含む）は最大でも5.0m未満に抑える必要がある。  
そのため足場工の数量算出にあたっては、右図のとおり5.0m未満の位置まで掘削を行った後、鉄筋挿入工を行い、再度下段の掘削および鉄筋挿入工を施工することを想定している。

土砂部の二重管削孔削孔が必要な段については足場幅4.5m、  
岩盤部の単管削孔で可能な範囲については足場幅3.0m、  
機械接地面から削孔位置までの高さが1m以下として数量を算出している。

掘削後に現地の岩盤線確認を行い、設計変更を行う。  
また削孔機の下上移動については展開図より二重管削孔を6回、  
単管削孔を13回とする。

実施図

| 高知県 越知町 |               |      |         |
|---------|---------------|------|---------|
| 施工年度    | 令和7年度         | 工事番号 | 令7社総第1号 |
| 工事名     | 町道大樽線改良交付金工事  |      |         |
| 図面名称    | 仮設工参考図        |      |         |
| 図面番号    | 11/11         | 縮尺   | S=1:100 |
| 路線名     | 町道大樽線         |      |         |
| 工事場所    | 高知県高岡郡越知町 越知乙 |      |         |